

第1回「これからの図書館のあり方について」懇話会議事録

- 1 日時 平成23年9月29日(木)
午後13時30分～午後14時45分
- 2 場所 福岡市総合図書館 3階第1会議室
- 3 出席者 委員：高橋 昇，脇川 郁也，西谷 郁，片岡 貞子，川上 明美，
上村 篤子，山本 富美江，音藤 幸子，三谷 直也，
田中 久美（計10名）
図書館：中沢館長，田中部長，大串運営課長，浏図書サービス課長他
傍聴者：なし

議 題 会長・副会長選任

会長については高橋教授、副会長については福岡おはなしの会の片岡さんに決定した。

議 題 福岡市図書館の現状の説明

(事務局)

資料3の「福岡市図書館の今後のあり方について」説明

(会 長)

「福岡市図書館の現状について」、ご質問やご意見はございませんでしょうか。

(委 員)

協議会ではなく、懇話会となっている理由は。

(事務局)

総合図書館には運営に関する事項を調査審議するための運営審議会がありますが、今回は委員の皆さんのいろんな立場や、図書館利用者という立場の方など、幅広い方々から、ざっくばらんなご意見を聞かせていただきたいということで、懇話会としております。

(委 員)

分館についての扱いはどう考えれば良いのか。

(事務局)

分館も含めて、福岡市の図書館として、これからの課題等を整理しますので、それに対してご意見をいただきたい。

(委員)

図書館のレファレンスで、職員への教育や指導はどのようにしてあるのか。

(事務局)

レファレンスの日々の実績等については、分館の職員を含め実績データを集約し、情報の共有化を行っております。

また、日頃の研修等については、県立図書館でレファレンス研修が毎年、数回開催されており、多くの職員が参加しております。さらに、昨年ですが国立国会図書館の職員の方に来ていただき研修を実施いたしました。

(会長)

先ほどの説明で、厳しい財政事情により図書購入費が減額になっているとの話であったが、他の政令指定都市の予算状況も次回提示していただきたい。

また、同じように市民が利用できるパソコンの導入状況も比較していただきたい。

(事務局)

次回の懇話会で資料を提示いたします。

(委員)

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の資料も用意していただきたい。

(事務局)

かなりのボリュームがありますので、抜粋したものを用意いたします。

(委員)

団体貸出サービスを実施されているが、その中で学校図書館との連携や地域文庫の状況を説明してもらいたい。

(事務局)

学校図書館の連携や地域文庫については、これからの図書館の大きな課題のひとつと考えております。次回、詳しく説明をいたします。

(会 長)

それでは、次の議題に移りたいと思います。

議 題 アンケート調査の説明

(事務局)

資料4-1、資料4-2の「アンケート調査について」説明

(委 員)

市政アンケートのサンプル数600名というのは、妥当な数字なのですか。

(事務局)

サンプル数600名については、統計上、有効な数字が得られると聞いております。また、図書館利用者を対象としたアンケートは、総合図書館で400名、各分館で100名、合計1,400名のサンプル数を予定しております。

(会 長)

アンケートの結果は次回の会議で報告されるのですね。それでは、進行を事務局へお返しいたします。

その他 次回スケジュール等の説明

(事務局)

資料5の「これからの図書館のあり方について」懇話会スケジュールを説明

(委 員)

懇話会ということで、いろんな話を聞いて、たくさん意見を述べられると思っていたが、スケジュール表をみると意見を発表する機会・時間が少ないように思われるが。

(事務局)

今回は12月上旬に開催し、課題等について意見交換をしていただくこととなりますが、このスケジュールについては、年に2回開催しております運営審議会にあわせてかたちで、大まかなスケジュールを組んでおります。

次回の進行状況で、委員の皆様のご意見を聞きながら、懇話会の回数が増えても良いと考えております。